昭和五十一年度 一般会計予算

総額七億六千四百万円

財政危機を乗りきるため、みなさんのご理解とご協力を

〔重点施策〕

①基幹村道の改良整備、併せて生活道路の改善整備及び、国・県道の改良促進

②農業を軸とした諸産業の発展

③教育をとりまく諸条件の整備充実

④社会福祉の充実促進

歳入　(単位千円)

款	予算額	構成比
1. 村税	226,911	29.7
2. 地方譲与税	5,600	0.7
3. 自動車取得税交付金	6,000	0.8
4. 交通安全対策特別交付金	731	0.1
5. 地方交付税	270,000	35.3
6. 分担金及び負担金	23,197	3.0
7. 使用料及び手数料	6,353	0.8
8. 国庫支出金	44,508	5.8
9. 県支出金	48,810	6.5
10. 財産収入	1,080	0.1
11. 寄附金	10,336	1.4
12. 繰入金	5,001	0.7
13. 繰越金	10,000	1.3
14. 諸収入	57,773	7.6
15. 村債	47,700	6.2
歳入合計	764,000	100.0

歳出　(単位千円)

款	予算額	構成比
1. 議会費	24,129	3.2
2. 総務費	109,119	14.3
3. 民生費	157,944	20.7
4. 衛生費	49,724	6.5
5. 農林水産業費	73,234	9.6
6. 商工費	45,230	5.9
7. 土木費	130,464	17.1
8. 消防費	54,650	7.1
9. 教育費	81,697	10.7
10. 災害復旧費	2	0.0
11. 公債費	35,426	4.6
12. 予備費	2,381	0.3
歳出合計	764,000	100.0

就任のあいさつ

収入役　鷲沢　赳弥

私は、昭和二十四年四月旧岩室村に俸職させて戴きまして、税務に十七年、観光に三年、農政に八年間、合せまして満二十八年間の長い間勤めさせて戴いていました。

今回、はからずも岩室村収入役にご推挙を戴き、就任することになりました。地方財政の硬直化、経済不況等々云々される中で、本村も例外ではありませんが全力を尽しまして、金子村長のもとに村財政の健全なる運営に当る所存でございます。

何卒旧に倍して皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げまして就任の挨拶といたします。

退任のあいさつ

堀越信一

春陽うららかな季節となりました。

村民の皆々様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

私ことは、八岩室村収入役就任以来、八ケ年間、二期に亘る任期が満了し、その職を退くことになりました。

任期中は、公私共に格別なるご厚情を賜り、幸にして大過なくその任を全うすることができましたことに対し誠にありがとうございました。これも偏に皆様方の温かいご支援とご指導、ご協力の賜と心から厚くお礼申し上げます。

私もこれからは、家庭で趣味の園芸を楽しみながら余生を送りたいと考えております。今後共、相変らぬご交誼とご指導を戴ければより幸と存じております。

終りに皆様方のご健康とご多幸と岩室村の益々のご発展をお祈り申し上げ退任のご挨拶といたします。

春の全国交通安全運動

運動期間　4月6日～4月15日（10日間）

重点目標

- 歩行者，特に子ども（幼児および学校児童）の事故防止
- 自転車利用者の事故防止
- シートベルト着用の推進

～みんなで守ろう 黄色い帽子の よいこたち～

「交通災害」見舞金の請求は おすみですか!!

昭和五十年四月一日から昭和五十一年三月末日までに交通事故にあわれ診療を受けられた方でまだ見舞金の請求をされていない方はありませんか。見舞金の請求は、事故に会われてから一ケ年間は有効です。該当すると思われる方は早めに請求されるようにしてください。

なお、本年度の交通災害共済の加入はお済みですか。お忘れの方は今すぐ農協又は役場総務課へ申込ください。

国民年金保険料の納入は忘れずに

四月二十一日頃国民年金保険料第一期分の納付書ができます。期日まで納入してください。

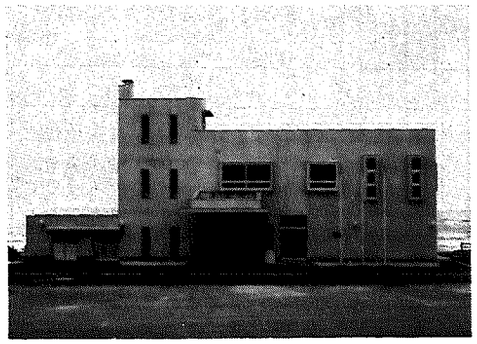
なお前納者は四月中に納入してください。

自然休養村管理センター

3月30日竣工式

～事業費9,894万円～

間瀬高屋地内に建設を進めていた自然休養村センターが完成し、三月三十日に待望の竣工式が現地で行なわれました。



自然休養村は、農漁村の自然と都市生活者に健全なレクリエーションの場を提供して天然資源の多目的活用をはかり、併せて農漁民に就業の機会を与えることを目的にしています。

この事業は自然休養村整備事業として、昭和四十八年に認定され、農業近代化施設整備及び土地基盤整備事業に取り組み、昭和五十年度に同事業の整備事業として、管理センターの建設を進め、この度完成したわけです。

管理センターは、自然休養村関連事業推進の事業主体である各種の農林漁業事業組合等の連絡指導調整等の研修のための共通の広場であり、また、憩の場としての総合センターです。

〔管理センターの概要〕

◎起工　昭和五十年七月二十四日

◎完工　昭和五十一年二月二十五日

◎設計監理　新潟市㈲田中武建築設計事務所

◎施行業者　株式会社横山組　株式会社小林百貨店

◎敷地面積　一、二〇二平方㍍

◎建築面積　六五四平方㍍

◎構造　鉄筋コンクリート造二階建

◎事業費　九、八九四万円

・本体関連工事費　八、九一三万円

・設計、管理費　四〇六万円

・内部施設等　五六一万円

・その他　一四万円

◎補助、起債

・国庫補助金　四、九一五万円

・県費補助金　九八三万円

・一般単独事業債　二、七〇〇万円

◎施設及び設備

全館完全冷暖房設備

(1)集会施設

集会室　二一・八平方㍍

(2)研修施設

農林漁業研修室　四九・五平方㍍

(3)伝習室

郷土芸能伝習室　七七・三平方㍍

(4)保健施設

休護室兼休憩室　一七・二平方㍍

(5)資料室

農林漁業展示資料室　三〇・三平方㍍

(6)その他施設

農林水産物直売所　二一・四平方㍍

厨房室　三九・九平方㍍

直食所（食堂）　七三・五平方㍍

事務室兼案内所　一一・二平方㍍

レジー係室

宿直室　一一・六平方㍍

浴室（男女別）　一八・九平方㍍

湯沸室　一三・五平方㍍

洗面所　七・七平方㍍

倉庫　一三・五平方㍍

機械室　一五・八平方㍍

その他　二一七・二平方㍍

自然休養村管理センター竣工式にあたって

長閑な春の日に、海の色も暖かさを増す頃となりました。

ここに村内外来賓各位のご臨席を賜り、自然休養村センターの竣工式を挙行することの出来ますことは、誠に慶びに耐えません。

本センターは、自然休養村事業の一環として、昭和四十七年度に候補地の指定を受けて以来、横山前村長さんの絶大なるご努力によりまして実施計画が樹立されたものであります。

爾来、昭和四十八年度には、酪農の畜産団地の建設がなされ、昭和四十九年度には観光牧場、並びに堀取り、もぎとり園の建設をみ、本年度漸くにして、本センターの着工を見たものであります。

この間、農林省、農政局並びに県農政企画課、農政事務所等各関係機関のご指導は申すに及ばず、村民各位のよせられたご理解ご協力を深く感謝申し上げる次第であります。

この上は、本村唯一の農林漁業者の研修施設として又、いこいの場として、その機能達成のため運営に万全を期する所存であります。

ここに竣工の式典を挙行するに当り所見の一端を申しのべ式辞といたします。

昭和五十一年三月三十日

岩室村長　金子　誠一

自然休養村センター竣工式

岩室村の大事業であります自然休養村事業の一環としての施設、管理センターが、三月三十日竣工いたしました。

オープンに先立ち、愛称を広く募集いたしましたが多数の方々が応募くださいました。一八二題の中から選考の結果、和納三区の高浪正恵さんの『白岩』に決定させていただきました。

この愛称とともに、憩の場、研修の場として施設をご利用いただきたいと思います。

自然休養村センター"白岩"の使用について

◇**申込手続き**

・管理センターを使用するときは、規定の使用料を添えて申込みください。

・十五人以上の団体の方はお手数でも、七日前までに申込みください。止むを得ず予約取消しの場合は使用予約日の三日前までに手続きをしてください。

◇**使用料**

・個人　大人　五〇〇円　小人　三〇〇円

・団体　大人　四〇〇円　小人　二〇〇円

・貸切

・郷土芸能伝習室　四、〇〇〇円

・研修室　二、〇〇〇円

・集会室　二、〇〇〇円

・休憩室　五、〇〇〇円

・（団体とは統率者のある十五人以上の団体です。入館者は入浴無料）

◇**使用時間**

・四月一日～六月三十日　午前九時～午後五時

・七月一日～八月三十一日　午前八時三十分～午後九時

・九月一日～三月三十一日　午前九時～午後五時（特別の理由ある場合は管理者に申し出てください。）

◇**休日**

・七月、八月を除く毎週火曜日

・その他理由のある日

◇**その他**

お食事やお酒その他のお料理等は、お申し込みを受けてから業務委託による指定業者がご注文に応じることになっております。

飲酒運転をやめよう

早春のパノラマドライブ　弥彦山スカイライン　四月一日オープン!!